

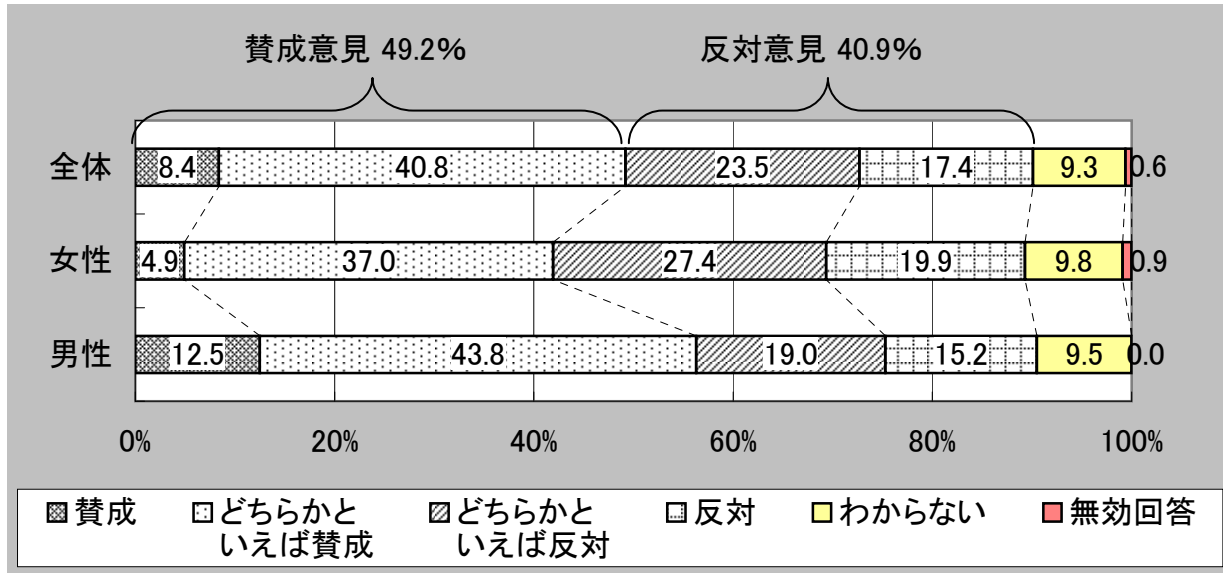
平成21年度香川県男女共同参画社会に関する意識調査の結果について

■ 主な調査結果

1 家庭生活と家族観について

※「概要版」P4

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

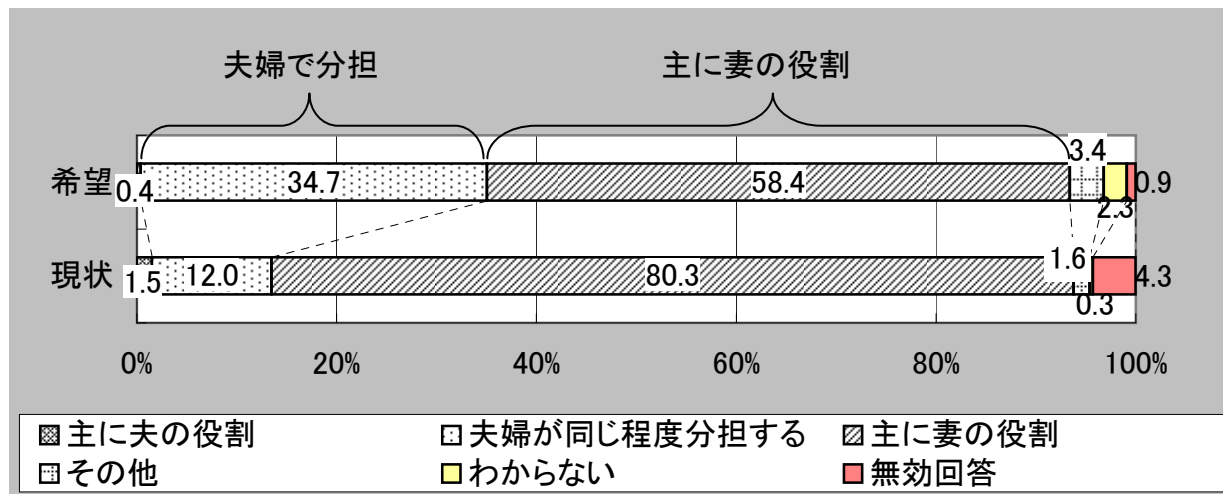


女性では反対（47.3%）が賛成（41.9%）を上回ったのに対し、男性では賛成（56.3%）が反対（34.2%）を上回りました。

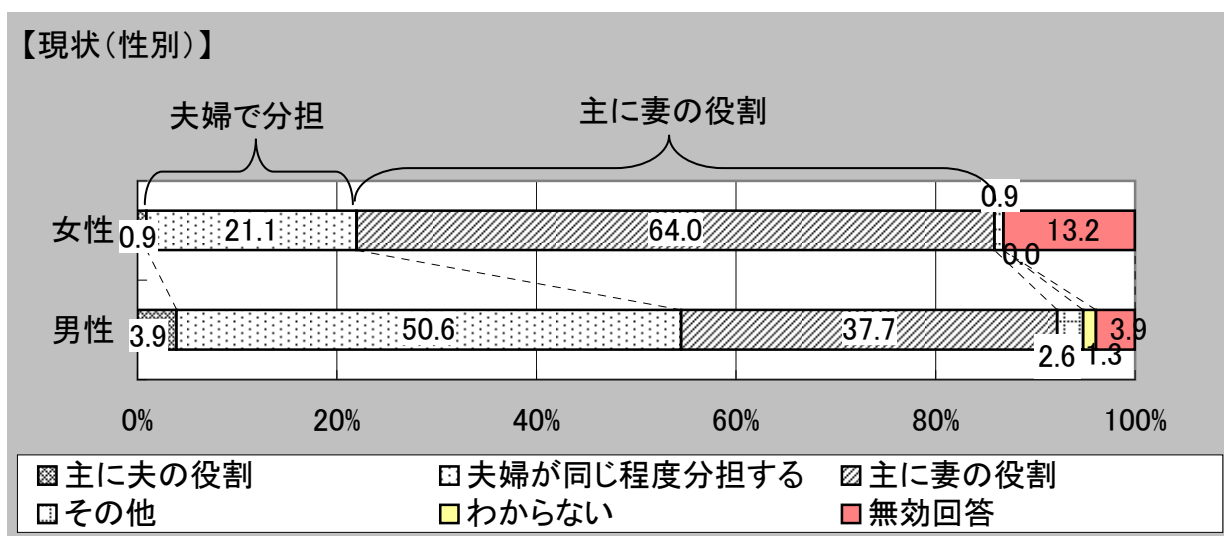
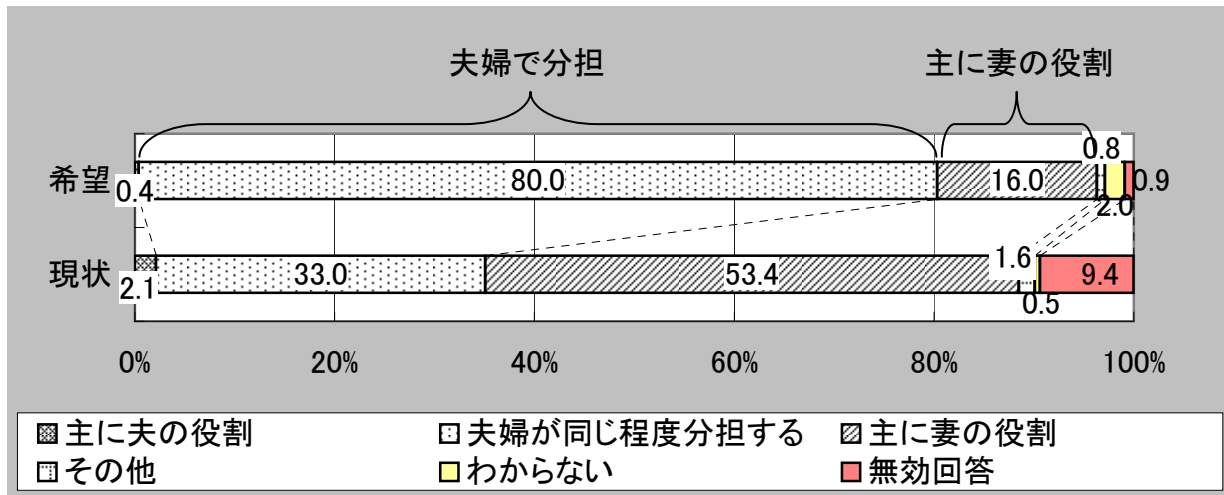
2 夫婦の役割分担について

炊事、洗濯、掃除などの家事

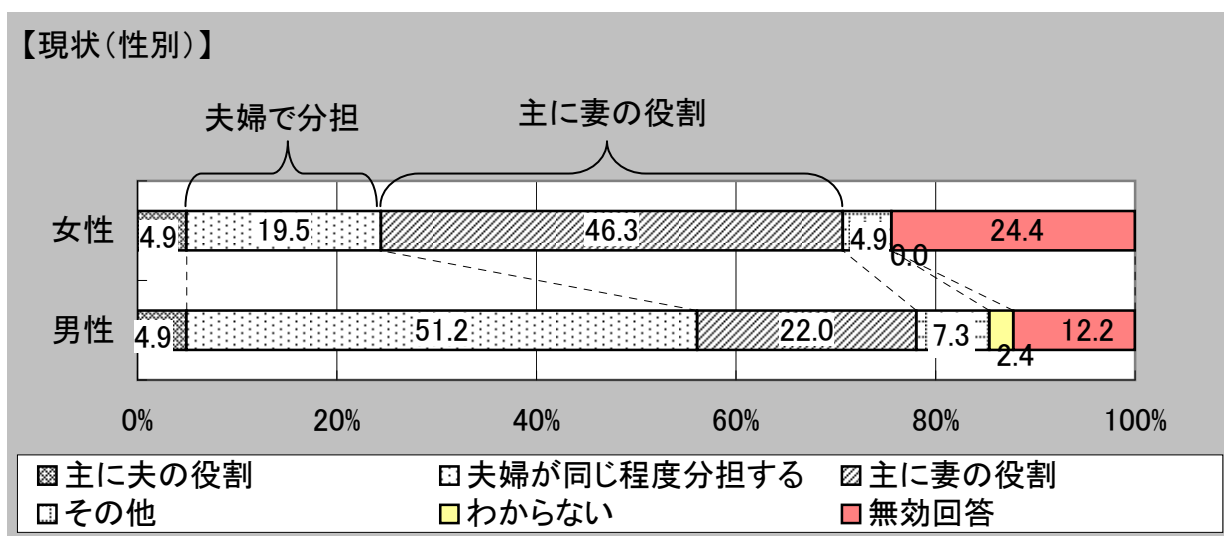
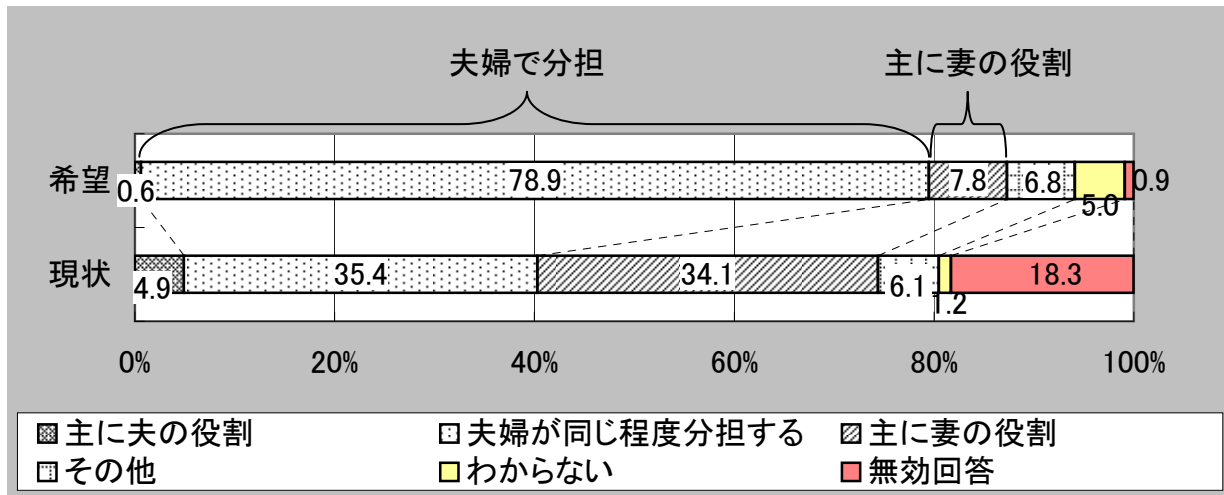
※「概要版」P5、6



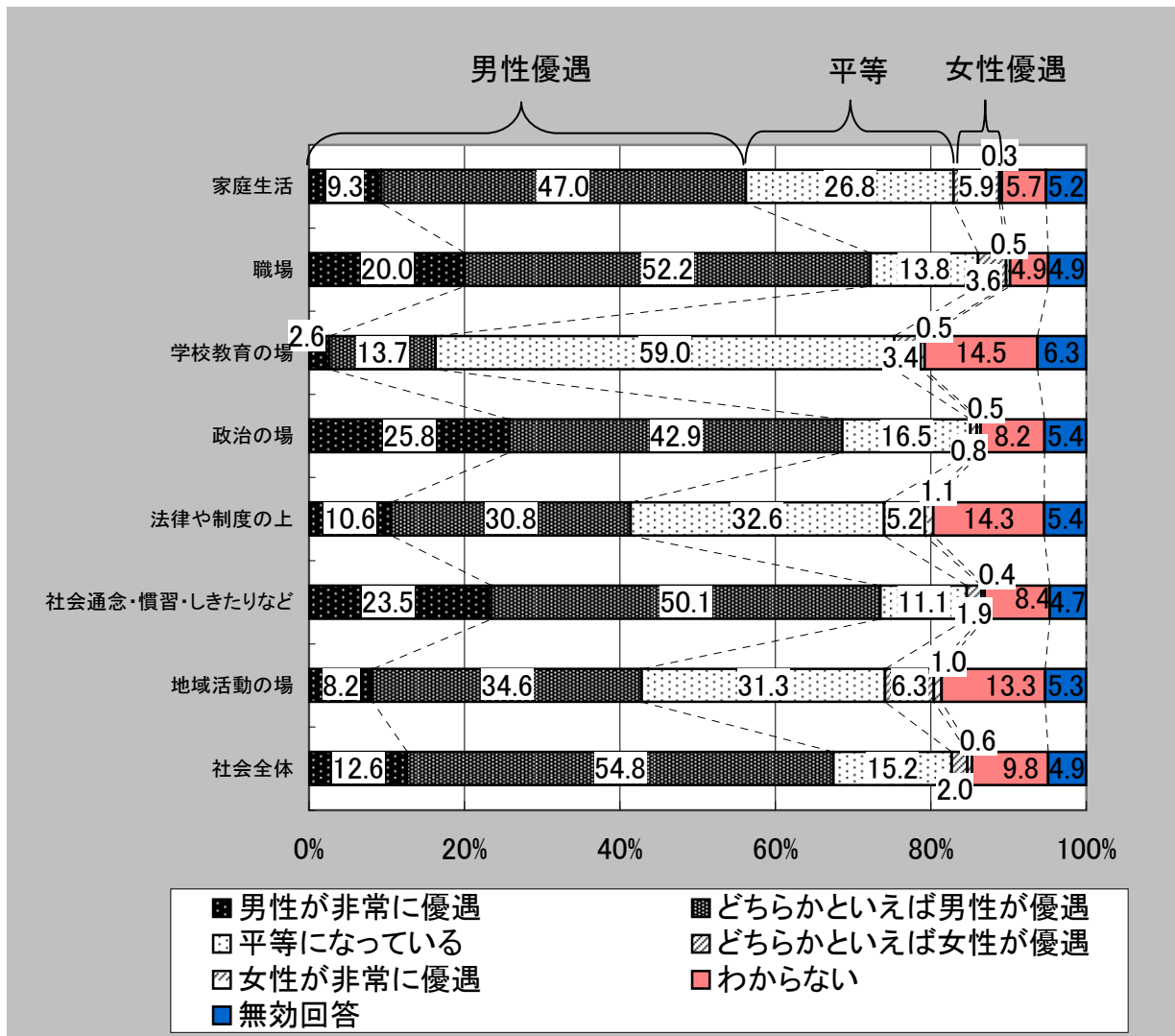
「主に妻の役割」とすることを希望する意見は約6割ですが、現状では約8割が妻の役割となっています。



夫婦で分担することを希望する意見が8割を占めていますが、現状では、男性は「夫婦が同じ程度分担」しているとの回答（50.6%）が多いのに対し、女性は「妻の役割」となっているとの回答（64.0%）が多く、男女間で認識の違いが見られました。

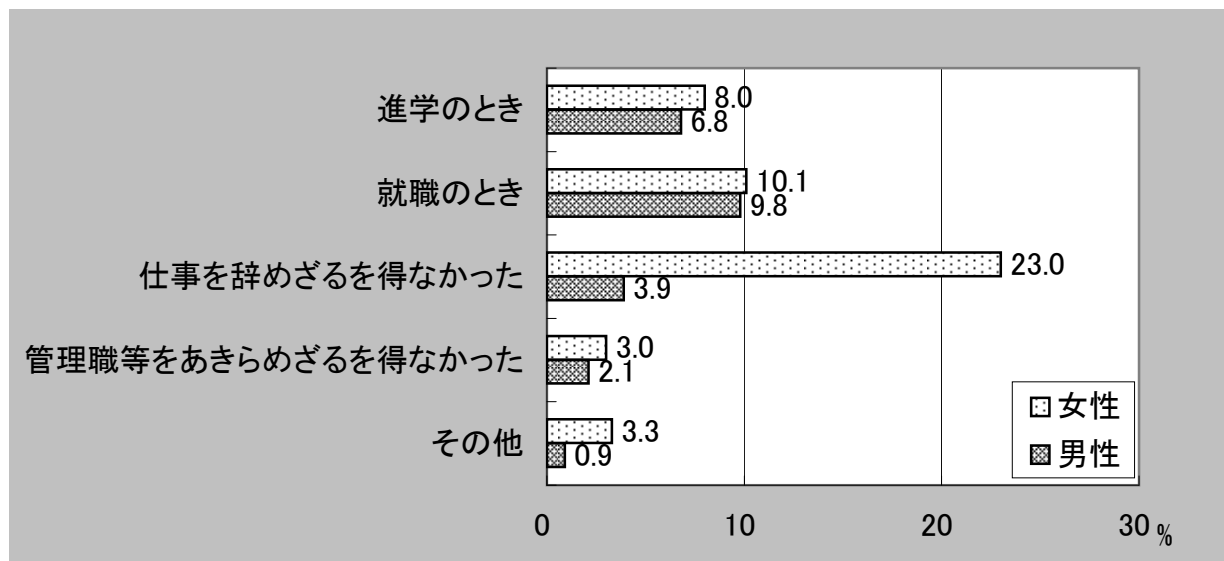


夫婦で分担することを希望する意見が8割を占めていますが、現状では、男性は「夫婦が同じ程度分担」しているとの回答（51.2%）が多いのに対し、女性は「妻の役割」となっているとの回答（46.3%）が多く、男女間で認識の違いが見られました。



「学校教育の場」で「平等になっている」が最も多くなったのを除くと、各分野で男性優遇になっているとの回答が多くなっています。

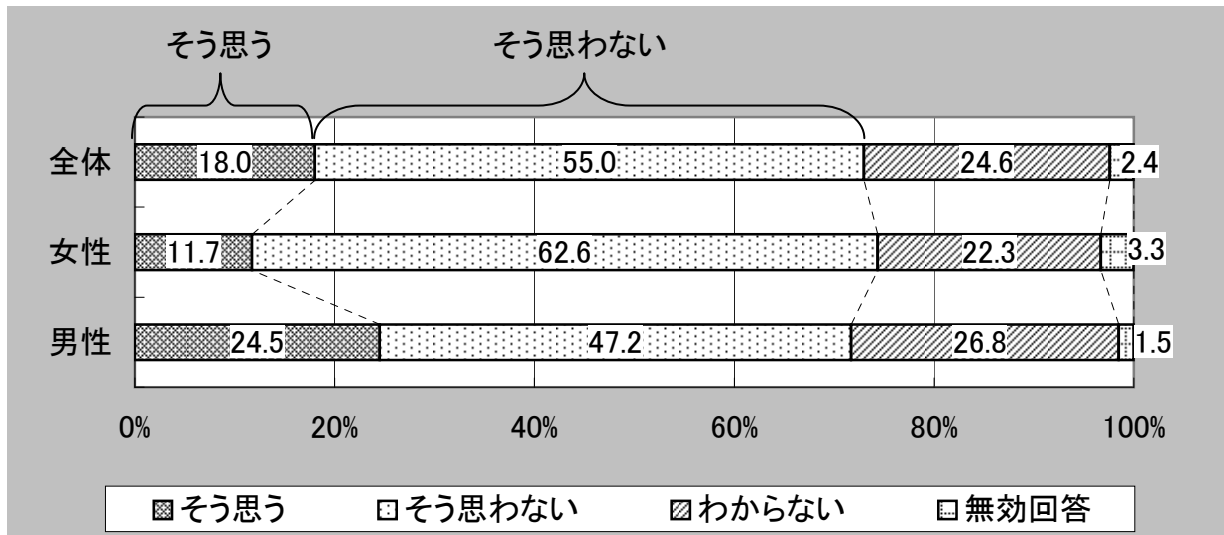
4 男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をせざるを得なかった経験



仕事を続けたかったが辞めざるを得なかった経験は、女性は男性の約6倍になっています。

5 10年後、現在より難しい仕事を行っていると思うか

※「概要版」P13



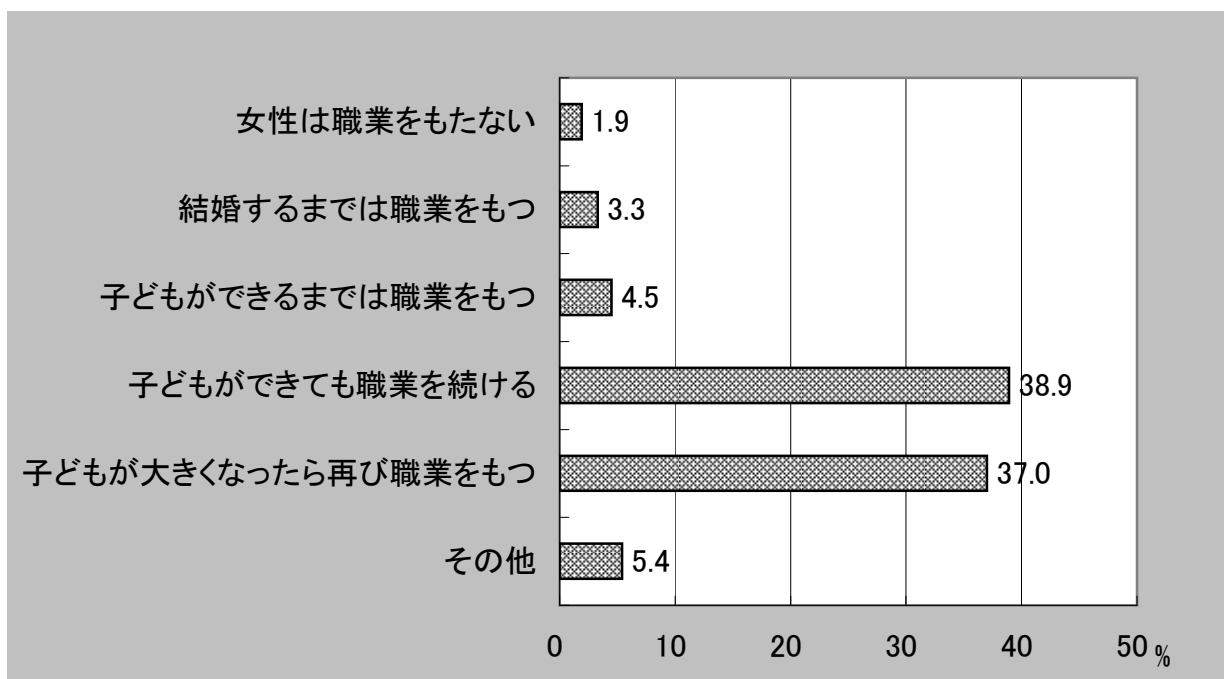
「そう思う」と回答した割合(性/年代別)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
女性	20.8	11.8	15.6	7.8	2.9	10.0
男性	50.0	53.3	30.8	11.8	10.2	0.0

10年後に、現在より難しい仕事を行っていると思うと回答した人の割合は、女性は男性の半数以下となりました。特に、20～30歳代では大きな差が見られました。

6 女性が職業を持つことについて

※「概要版」P14



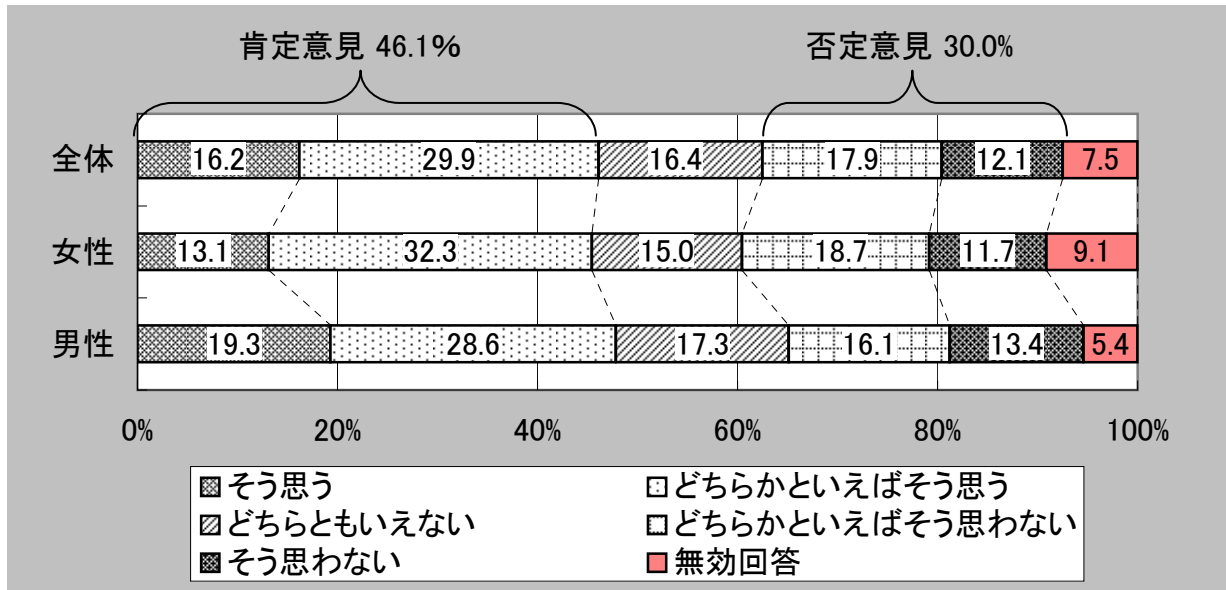
子どもができて、ずっと続けることを支持する意見が最も多く、次いで、子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つことを支持する意見が多くなりました。

一方、「女性は職業をもたない」、「結婚するまでは職業をもつ」、「子どもができるまでは職業をもつ」などの意見は少数となりました。

7 ワーク・ライフ・バランスについて

自分が希望する時間の使い方ができているかどうか

※「概要版」P16



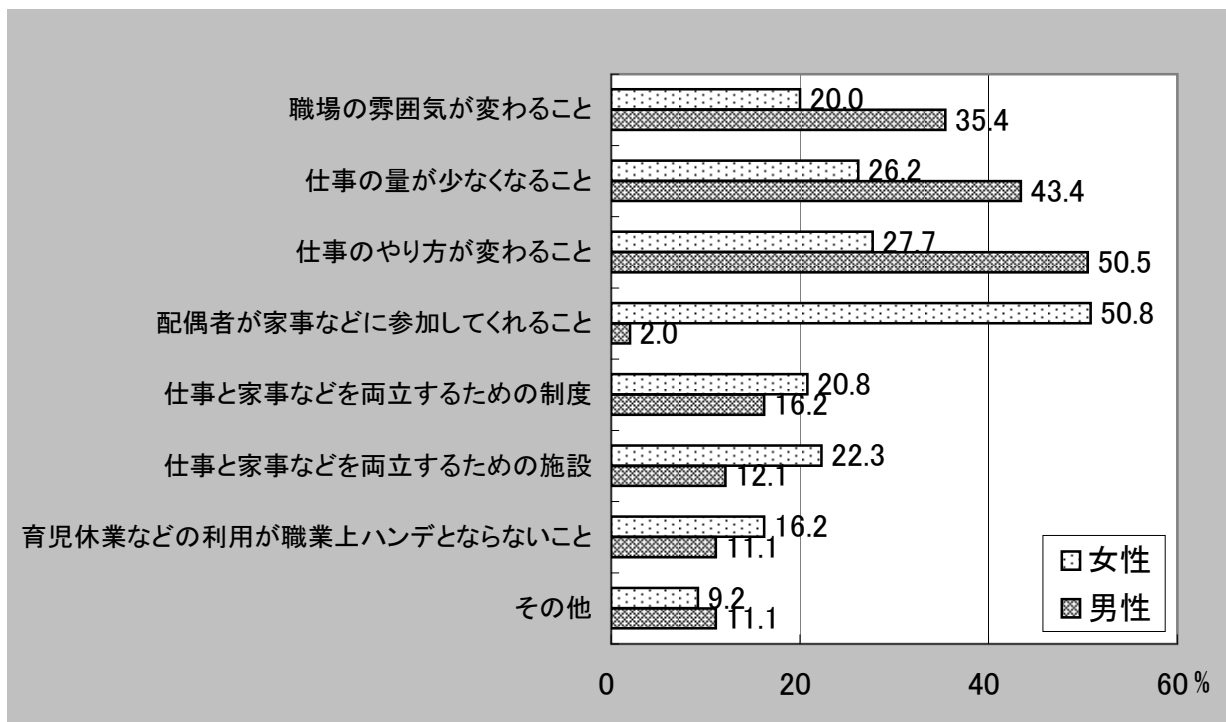
肯定意見と否定意見の割合(性/年代別)

		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
女性	肯定	76.5	42.3	40.3	38.4	47.6	54.2
	否定	14.7	32.0	37.5	35.5	25.6	12.5
男性	肯定	40.0	36.7	41.8	48.7	61.3	42.4
	否定	40.0	42.9	35.8	28.2	20.5	18.2

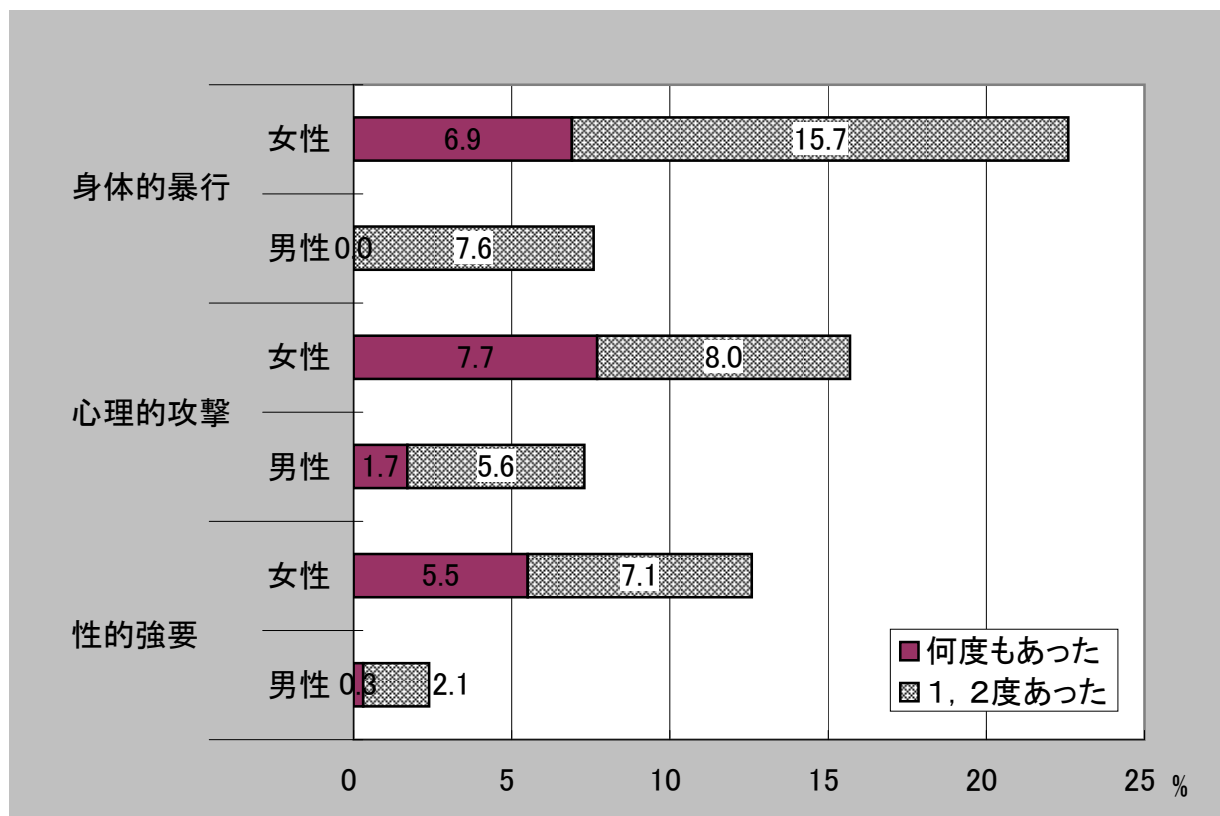
全体では肯定意見が否定意見を上回りましたが、30歳代男性ではその割合が逆転しています。

自分が希望する時間の取り方ができるために必要なこと

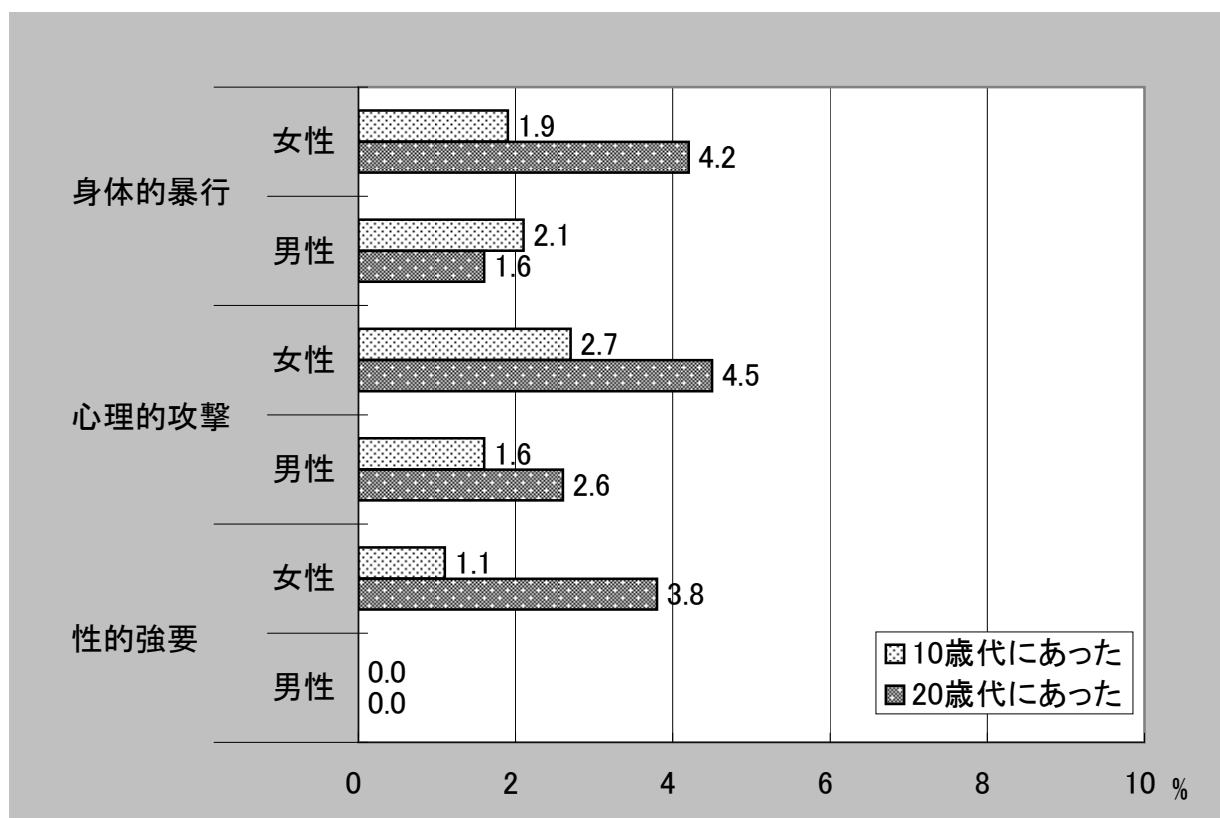
※「概要版」P18



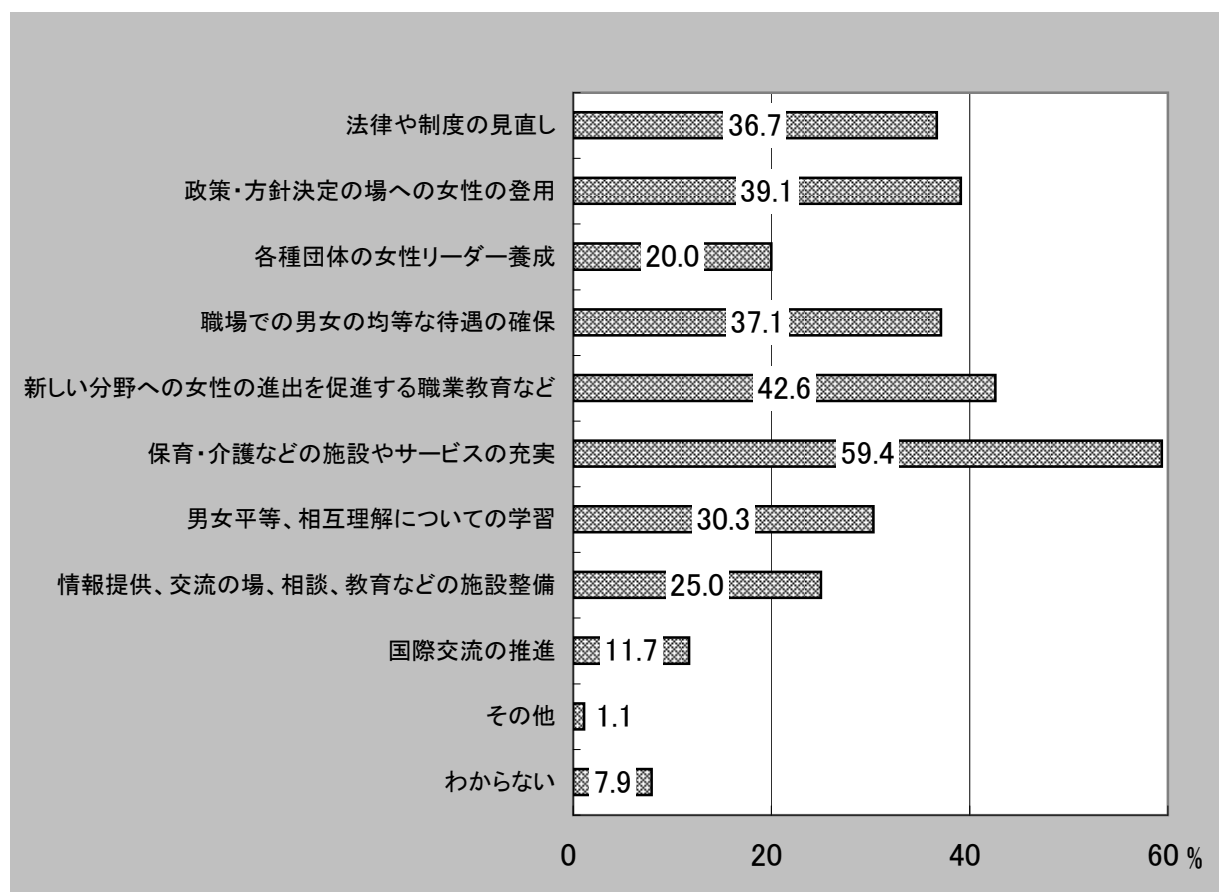
女性では、配偶者の家事・育児・介護への参加についての回答が多く、男性では、仕事のやり方や量、職場の雰囲気など、仕事に関する回答が多くなりました。



配偶者から暴力の被害経験は、いずれの暴力においても男性よりも女性が多くなっています。



交際相手から暴力の被害経験についても、男性より女性が多くなっています。



「保育・介護などの施設やサービスの充実」を望む意見が約6割と最も多くなりました。
次いで、「新しい分野への女性の進出を促進する職業教育」、「政策・方針決定の場への女性の登用」、「職場での男女の均等な待遇の確保」が約4割となりました。